

みやぎっ子!元気アップ通信

2018年6月
第25号
宮城県教育委員会

さあ、見せましょう! 我らがみやぎっ子の底力を!



「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

結果の送付に当たって

スポーツ庁による「平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の「児童生徒調査票」「学校質問紙調査票（回答用紙）」が間もなく各校に配送されます。



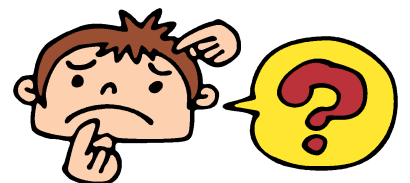
【これまでの体力合計点の推移】

小5男子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29
宮城県	53.31	53.82	53.46	52.92	53.11	53.04	52.75	53.06	53.53
全国	54.18	54.19	54.36	54.07	53.87	53.91	53.80	53.92	54.16
順位	36	30	35	41	36	40	42	38	33

小5女子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29
宮城県	54.32	54.58	54.30	54.24	54.10	54.57	54.40	55.01	54.92
全国	54.84	54.59	54.89	54.85	54.70	55.01	55.18	55.54	55.72
順位	31	25	28	32	32	33	37	32	37

我らがみやぎっ子は、これまでの「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、残念ながら**全国平均を上回ったことはありません。**

この結果には、どんな背景があるのでしょうか。



体育の授業改善はもちろんのこと、学校全体の体育活動年間指導計画の見直しが求められています。（カリキュラム・マネジメントの実現）

○ 体育の一単位時間の授業を構成するに当たって

- 1 「ねらい」の明確な提示
- 2 多様な児童生徒の学びへの対応と適切な運動量の確保
- 3 事故の未然防止に向けた安全面への配慮
- 4 「振り返り」の場面の設定



○ 体力・運動能力記録カードの有効活用を！

各校では、現在盛んに体力・運動能力調査が行われていることと思います。

正確に調査を実施することはもちろん、**全力を引き出す**ことができる場を設定し、ぜひとも**子供たち自身が成長を実感できる機会**としてください。宮城県独自で12年間継続使用する「**体力・運動能力記録カード**」も、記入してしまい込むのではなく、例えば学期ごとに体力・運動能力調査を実施し、その都度向上した種目を書き換えていくなどの活用をしていけば、**子供たちの励み**につながるのではないのでしょうか。先生方の**創意工夫に満ちた有効活用を期待**しています。

○ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果の提出に当たってお願いしたいこと

提出する前に、ぜひ**昨年度の5年生の記録と比較分析**してみてください。きっと、今年度の5年生の**集団の傾向**が見えてくることと思います。また、**エラーデータのチェック**にもつながります。

実施要項（スポーツ庁）では、**7月末日**までに指定された提出先に各校から直接提出することとなっていますが、本県として確実な提出を期するために各校からの提出を**18日（水）**までに完了し、所管の教育委員会に提出完了報告をするように依頼しております。

なぜ、子どもたちの体力・運動能力の低下を問題視するのですか？



その背景にある「**運動を主とした生活習慣の課題**」こそが問題です

さあ、みやぎっ子の未来へ向けて、今こそ**家庭や地域と一体となった課題解決**への方策を！

『みやぎっ子！元気アップ通信』へのお問い合わせ

宮城県教育庁スポーツ健康課 学校安全体育班

TEL：022-211-3667 FAX：022-211-3796

MAIL：supokenga@pref.miyagi.lg.jp

～スポーツを通して 活力と絆のある みやぎを創ろう～

